

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いちごハウス		
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日		2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会でのルールが守れるようにお出掛けやお買い物学習ができる機会を設けている。	それぞれの発達に合わせて練習をしている。	事前にお金の概念や計算ができるように、個別の課題で勉強している。
2	個別、集団で製作活動に力を入れている。	皆で協力する、また巧緻動作が向上できるように取り組んでいる。	巧緻動作に関しては、個別にOTと取り組んでいる。また年に一度の作品展に参加している。
3	年齢に関係なく集団遊びを楽しむ。	できるだけ子どもと一緒に遊びの内容を企画するようにしている。	遊びの中でコミュニケーション能力を養う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が難しい。	平日は、連携出来る機会は全く無い。	土曜、祝日に近隣でのイベントに参加する機会を設けたい。
2	保護者会の開催回数が少ない。	働いている保護者の方々多く、日程調整が難しい。	保護者の方の意見を聞き取って調整を行うようにしたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 いちごハウス

公表日 2025年10月25日

利用児童数 2025年9月30日

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		2		
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		5	あまり行かないので確認をしていません。	
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		
	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22			1		
	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			2	文章がわかりづらいです。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		1	色々なレクリエーションをして頂いて、子どもも喜んでます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	1	9	難しいかと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	1	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2			面談では、すごく丁寧に日頃の様子を伝えていただきありがとうございます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				息子の成長をよく見て下さり、しっかりと伝えていただいています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	2	9	今は特に必要ない。上の子が小さい時は、兄弟の交流の機会があればなと思った。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	1	4		多分されているのではないのでしょうか。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	3		6		多分されているのではないのでしょうか。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2				とても楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2				子どもの事をよく見て下さり本当に助かっています。本人も帰ってきてから、楽しかった！と言っています。地域のイベントなどの外出がありがたいです。とても毎日楽しく通所しています。これ

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いちごハウス				公表日		2025年 10月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	個別の時は、別の部屋を確保している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		児童の送迎時に職員が少なくなる時がある。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	トイレや洗面台など子どもに分かりやすいように視覚的な支援をしている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日清掃し清潔に保つようになっている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	OT室や相談、休憩室が確保されている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	会議以外でも職員間で話し合うこともある。適時スタッフミーティングが行われている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者向けの評価表をまとめ、職員会議の時に伝え改善に繋げている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	職員会議や毎日の振り返りなどで話し合う機会があり、改善できる点は改善するようにしている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5		第三者による外部評価は行っていない。全職員に周知するようにしたい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	適時研修の実施や参加する機会がある。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		専門職と一緒に分析し作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		児発管、保育士、児童指導員、専門職など多職種が参加し実施している。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		全職員が共有できるように、会議等で確認し、支援をしている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	ケースシートに目標の設定とアセスメントで利用毎に行われている。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	適切に網羅され支援内容が設定されている。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	3	チームリーダーを中心に立案し、細かく内容を決めて実施している。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	子どもたちが飽きないような活動内容にしている。				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	常勤職員は始業前に打ち合わせを行い、非常勤職員にその日の役割分担を伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	全職員ではないが、終了後に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		ケース記録にて実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		半年に一度モニタリングを行い、面談時に保護者と共に見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10		全ての基本活動を踏まえて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		集団遊びでは、子どもも交えて一緒に考えている。子どもの意思を尊重し自己決定を促す介入をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		会議には、児発管を中心に把握している者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	学校との情報共有は、一応できているが、話し合いの場が少ない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		情報共有方法として統一された様式等があれば、より良い支援が出来るのではないかと考える。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4		まだそのような児童生徒がないので、そのような時に情報提供ができるように整えておく必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	外出などの際に地域との繋がりがあがる。	地域との交流の機会がないので、できていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡帳以外でも、送迎時にその日の様子を伝え共有している。また必要に応じて、すぐに連絡を取り合ったり、訪問したりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		書類や口頭にて行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		電話以外にも時には訪問も行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	6		年に一度程度しか開催できておらず、課題である。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月のお便りのほか、SNSを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		時間、場所、方法等 個別性を踏まえ行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8		行事は行えていない。地域に開かれた事業運営は難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	マニュアルを作成し、年2回それぞれ発生の内容を変え想定した訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	緊急時の対応マニュアルは、ホワイトボードに記載され、皆がすぐ見て対応できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		職員会議や毎日の振り返りなどでも検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		全職員に研修してもらおうよう、方法などを色々考えていく必要性を感じている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		記載はしているが、現在該当児童がいない。		